

東北地方 3 か月予報

(1 0 月から 1 2 月までの天候見通し)

平成 2 3 年 9 月 2 2 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 3 か月の天候 >

向こう 3 か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、高い確率 5 0 % です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに 4 0 % です。

1 0 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。
気温は、高い確率 5 0 % です。

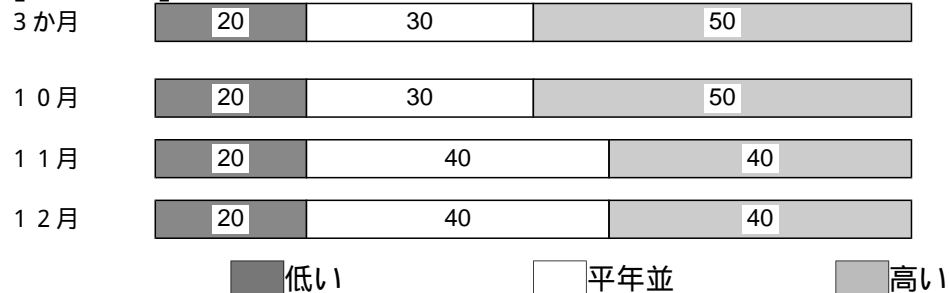
1 1 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。
気温は、平年並または高い確率ともに 4 0 % です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに 4 0 % です。

1 2 月 東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多い見込みです。
気温は、平年並または高い確率ともに 4 0 % です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに 4 0 % です。

< 向こう 3 か月の気温、降水量の各階級の確率 (%) >

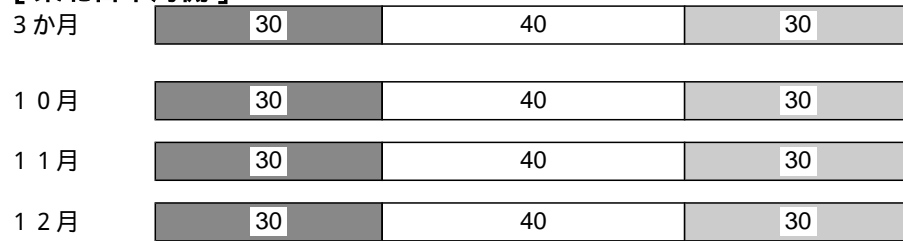
< 気温 >

[東北地方]

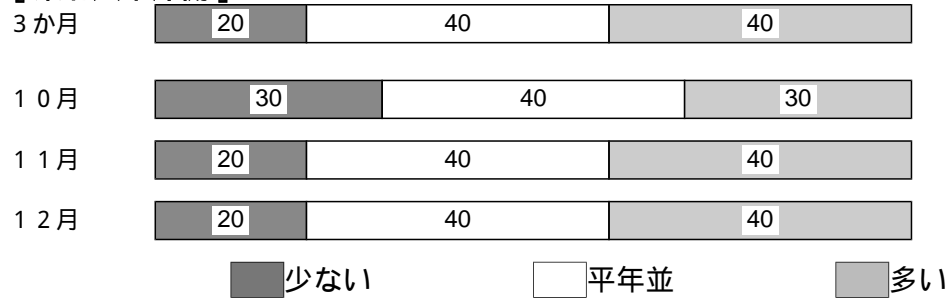


< < 降水量 > >

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



< 次回発表予定等 >

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は9月23日

3 か月予報：10月25日（火） 14時

10月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量、日照時間）

	気 温 ()				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月
青森	13.1	6.8	1.5	7.1	103.9	137.7	150.8	392.4	149.7	87.6	52.8	290.0
深浦	13.5	7.7	2.5	7.9	155.4	146.9	132.9	435.2	131.2	64.9	31.6	227.1
むつ	12.4	6.5	1.3	6.7	109.8	117.4	103.7	330.9	159.0	102.9	71.2	333.0
八戸	13.0	6.9	1.8	7.3	87.2	62.0	49.1	198.4	161.3	133.3	124.5	419.1
秋田	14.0	7.9	2.9	8.3	157.2	185.8	160.1	503.0	145.4	82.7	45.1	273.1
盛岡	12.1	5.9	1.0	6.3	93.0	90.2	70.8	253.9	145.8	116.9	101.6	364.3
大船渡	14.0	8.3	3.6	8.6	140.7	94.1	50.4	285.1	140.7	134.9	132.0	407.5
宮古	13.3	7.8	3.1	8.1	125.7	80.1	64.8	270.6	155.2	147.3	147.4	449.9
仙台	15.2	9.4	4.5	9.7	122.0	65.1	36.6	223.7	148.6	139.6	138.6	426.7
石巻	14.5	8.5	3.5	8.9	119.2	66.6	33.6	219.3	155.7	147.5	149.3	452.5
山形	13.6	7.4	2.6	7.8	92.4	84.5	82.7	259.5	132.1	99.2	80.7	312.0
新庄	12.7	6.4	1.6	6.9	156.6	188.7	223.6	565.3	105.1	62.3	38.8	204.7
酒田	15.1	9.3	4.5	9.7	180.5	225.0	204.0	609.6	141.5	81.9	43.9	268.8
福島	15.1	9.2	4.4	9.5	119.1	65.5	41.8	226.3	135.8	128.3	125.2	389.4
若松	13.5	7.1	2.2	7.6	100.1	78.9	93.8	272.8	121.5	86.8	70.7	279.0
白河	13.5	7.8	3.0	8.1	135.6	69.8	36.0	241.3	138.1	144.8	152.0	434.9
小名浜	16.4	11.1	6.4	11.3	173.8	82.4	44.4	300.5	152.7	160.5	183.6	496.7

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（２）1981～2010年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	１０月	１１月	１２月	１０月～１２月
気温平年差()	東北地方	-0.3 ～ +0.4	-0.3 ～ +0.5	-0.1 ～ +0.4	-0.2 ～ +0.4
	東北日本海側	-0.3 ～ +0.4	-0.3 ～ +0.5	-0.2 ～ +0.5	-0.2 ～ +0.4
	東北太平洋側	-0.3 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.5	-0.1 ～ +0.4	-0.1 ～ +0.4
降水量平年比(%)	東北地方	81 ～ 107	85 ～ 105	74 ～ 97	89 ～ 102
	東北日本海側	84 ～ 109	93 ～ 105	91 ～ 105	93 ～ 108
	東北太平洋側	76 ～ 108	69 ～ 113	60 ～ 101	85 ～ 102
日照時間平年比(%)	東北地方	99 ～ 105	97 ～ 105	96 ～ 103	97 ～ 103
	東北日本海側	100 ～ 103	100 ～ 108	89 ～ 108	99 ～ 103
	東北太平洋側	101 ～ 105	94 ～ 101	97 ～ 105	97 ～ 102

（３）接近する台風の平年値

	１０月	１１月	１２月
東北地方	0.4	0.0	0.0

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（10～12月）

平成23年9月22日 仙台管区气象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

各階級の確率の偏りが小さい場合は記述していない。

10～12月	気温は、高い確率50%です。 降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
10月	気温は、高い確率50%です。
11月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
12月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。

2. 数値予報による海洋と大気の流れの予想

海面水温(上図)は、インド洋から西部太平洋の熱帯域では平年より高く、中・東部太平洋熱帯域では平年より低くなる見込み。エルニーニョ予測モデルは、エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない平常の状態が秋から冬にかけても続く可能性が高いと予測している。

熱帯の対流活動(図略)は、インド洋から西部太平洋にかけて平年より活発、中部太平洋から東部太平洋にかけて平年より不活発の予想で、これに対応して偏西風はユーラシア大陸から北太平洋では平年より北を流れるため、中緯度帯では寒気の影響を受けにくい。

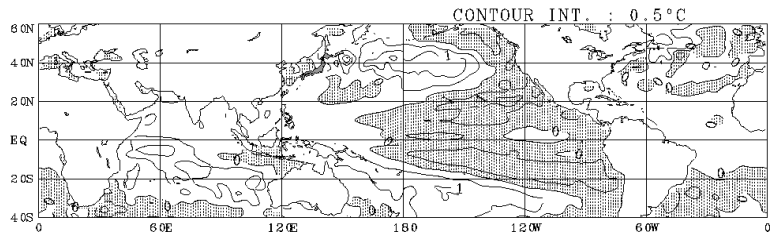
500hPa 高度(中図)は、アリューシャンの南で顕著な正偏差で、シベリアから日本のはるか東海上にかけて正偏差となり、東北地方は平年より暖かい空気におおわれる。3か月平均気温は高くなる可能性が大きい。

月別の予想(下図)

10月: 東北地方は高気圧や低気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変わる。偏西風が平年より北を流れるため、日本付近は暖かい空気におおわれ、高温が予想される。

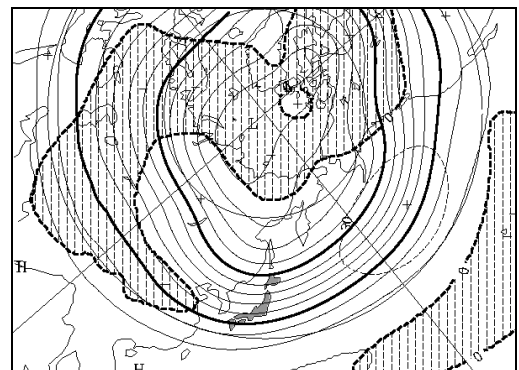
11月: 華北から日本の南にかけては弱い負偏差域となり、東北地方は前線や気圧の谷の影響を受ける時期がある見込み。アリューシャン低気圧が平年より弱く、東北地方は暖かい空気におおわれ、高温傾向が見込まれる。

12月: 日本付近は広く負偏差におおわれる。東北地方は前線や低気圧の影響を受けやすい見込み。アリューシャン低気圧が平年より弱いことから冬型の気圧配置は長続きしない予想で、大陸からの季節風が弱く高温傾向が見込まれる。



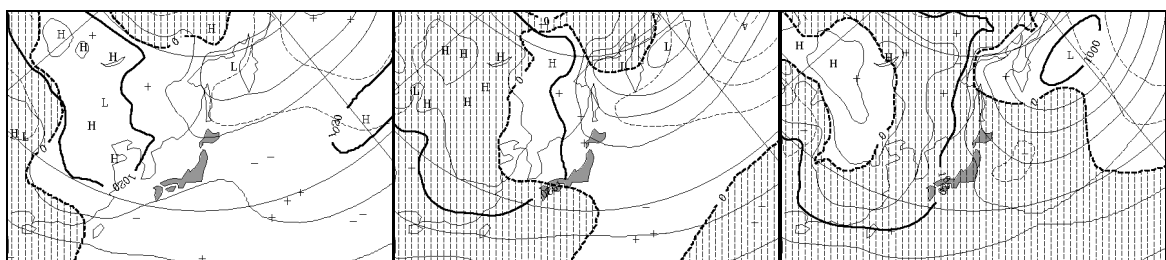
3か月平均の海面水温偏差の予想図

等値線間隔は0.5°C。陰影部は負偏差。



3か月平均の500hPa 高度と偏差の予想図

実線は高度(間隔60m)、点線は偏差(間隔30m)。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。



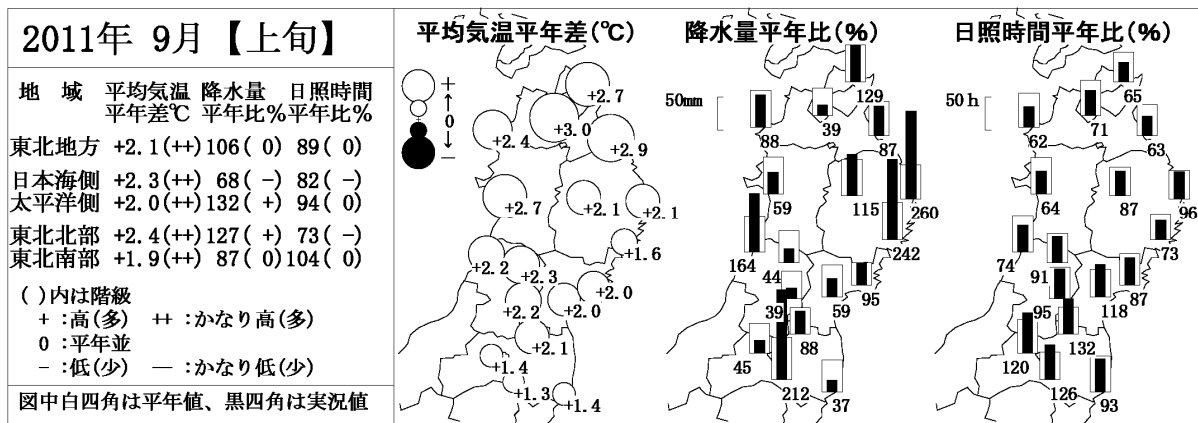
月平均の海面気圧と偏差の予想図

左から10月、11月、12月。実線は海面気圧(間隔4hPa)、点線は偏差(間隔1hPa)。陰影部は負偏差。

3. 最近の天候経過

9月上旬：期間の中頃までは台風第12号や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かったが、その後は高気圧におおわれて東南北部を中心に晴れの日が多かった。1日から6日にかけては、台風第12号の影響で南から暖かく湿った気流が入り、東北太平洋側を中心に大雨となった所があった。

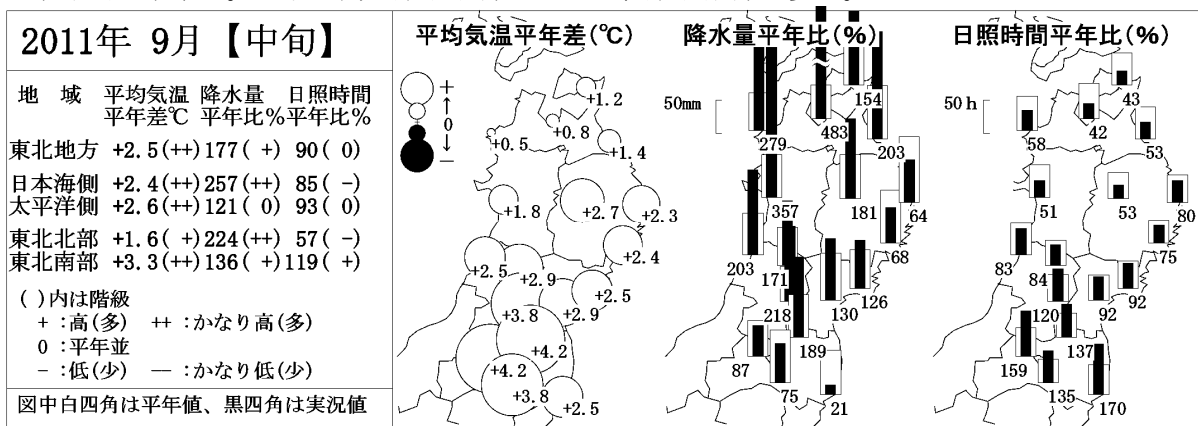
平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。日照時間は東南北部で少なく、東北南部で平年並。



9月上旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)

9月中旬：この期間、東北部は前線の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった日があった。東南部は高気圧におおわれ晴れの日が多かった。20日は前線や台風第15号の影響で各県で大雨となった。南から暖かく湿った気流が入り、気温は高くなった。

平均気温は東北部で高く、東南部でかなり高い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北部で少なく、東南部で多い。

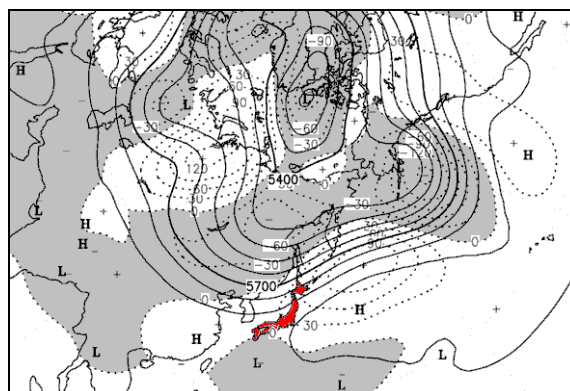


9月中旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)

4. 今月の循環場の特徴

9月(20日まで)：500hPa 高度は、千島の東付近が顕著な正偏差で、日本付近は正偏差におおわれ、太平洋高気圧の北への張り出しが平年より強かった。中国東北区付近には負偏差がみられ、西谷となった。

東北部は、前線が停滞したため曇りや雨の日が多かったが、東南部は高気圧におおわれ晴れの日が多かった。また南から暖かく湿った気流が入ったため高温となった。



9月1日～20日の平均500hPa 高度

実線は高度(間隔 60m)、点線は偏差(間隔 30m)。陰影部は負偏差。

<参考資料>

平年の天気出現日数(日)

	青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
10月	16.2	12.6	15.5	13.8	15.8	10.2	16.5	7.8	14.3	9.8	15.6	7.6
11月	9.8	16.9	8.9	18.1	14.3	11.9	18.0	6.2	10.9	11.9	16.3	6.6
12月	5.6	20.7	4.2	21.4	13.7	11.2	18.6	4.7	8.9	14.1	16.5	6.9

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。